

■令和7年度 大阪府職員研修体系図(階層別研修)

職階 対象		一般職員 (主事・技師級)				初級管理職 (主査・課長補佐級)								所属長・幹部 (課長・次長・部長級)	
		採用1年目	採用2年目	採用3年目	採用4年目～	新任主査	主査2年目	主査3年目	主査4年目～	新任課長補佐	補佐2年目	補佐3年目～	新任課長	課長級2年目～	
センター研修	階層別研修	【1～3年目】採用3年目まで重点的にフォロー				【新任主査級】 チームの サブリーダーとして 専門知識を習得	【主査級2年目】 実践的な 法務能力を習得		【主査級4年目】 総括主査としての マネジメント力を 習得	【新任課長補佐級】 マネジメントの 基本を習得		【課長補佐級3年目】 グループ長としての マネジメント力を 習得	【新任課長級～】 戦略的な 組織マネジメント		
		1 新規採用 職員研修 ・採用前研修 ・採用時研修 ・障がい福祉	2 主事・技師 級研修Ⅱ ・全体講義 ・公民戦略連携 デスク体験 実習（休止）	3 主事・技師級 研修Ⅲ ・全体講義 ・政策形成の 基礎 ・福祉体験 （休止）		5 新任主査級 研修 ・全体講義 ・戦略的思考力 「バワーアップ」研修 ・リスクマネジメント研修 ・コミュニケーション研修 ・財務分析基礎 研修	5 主査級 2年目研修 ・法務能力向上 研修		5 主査級 4年目研修 ・マネジメント 基礎研修	6 新任 課長補佐級 研修 ・全体講義 ・人権問題研修		6 課長補佐級 3年目研修 ・マネジメント 上級研修	7 新任課長級 研修		
					【新任副主査】 先輩職員としての役割を認識					【課長補佐級】 部下指導や人材育成に必要な知識を習得			【管理職】 管理職に求められるリーダーシップ		
				4 新任副主査研修						6 課長補佐級研修 ・人材マネジメント基礎			8 管理職研修 ・管理職研修		
										【評価者】 人事評価に必要な知識を習得					
										9 評価者研修 ・制度説明 ・事例研修 ・面談研修 ・評価傾向診断 ・開示面談実践研修					
						【再任用等】 再任用職員としての役割を認識								【役職定年】 今後求められる役割を認識	
						10 再任用職員研修 ・再任用研修								10 キャリアシフト研修 ・キャリアシフト研修	

○【求められる能力】と 現行研修の対応関係イメージ

求められる能力(イメージ)		主事・技師級職員				主査級職員				課長補佐級職員			課長級職員	
		重点育成		4年目～				4年目～		3年目～			2年目～	
(テクニカルスキル)	職務能力遂行	△	△	△	○	◎	◎	◎	◎	★	★	★	★	★
	文書事務	△	△	△	○	◎	◎	◎	◎	★	★	★	★	★
	法的思考力	△	△	△	△	○	○	○	◎	★	★	★	★	★
(対人関係能力)	コミュニケーション	△	△	△	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	★	★
	傾聴力	△	△	△	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	★	★
	プレゼンテーション	△	△	△	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	★	★
	交渉力	△	△	△	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎	★	★
	リーダーシップ				△	△	△	△	○	◎	◎	◎	★	★
	コーチング				△	△	△	△	○	◎	◎	◎	★	★
マネジメント	問題解決能力								△	△	△	○	◎	★
	組織化する能力								△	△	△	○	◎	★
	評価測定能力								△	△	△	○	◎	★
	目標を設定する能力	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	◎	★
(概念化能力)	探求心	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
	受容性	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
	DJ“カシキング”	△	△	△	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	★	★
	クリエイティブ“シキング”	△	△	△	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	★	★
	クリエイティブ“シキング”	△	△	△	△	○	○	○	○	◎	◎	◎	★	★
	柔軟性	△	△	△	△	○	○	○	○	◎	◎	◎	★	★
	多面的視野	△	△	△	△	○	○	○	○	◎	◎	◎	★	★
	俯瞰力	△	△	△	△	△	△	△	○	◎	◎	◎	★	★

※スキルマップ(イメージ)をもとに、R7研修計画(【階層別研修】に限る)で対応するカリキュラムがある場合はセルを着色

※別途【キャリア形成支援研修】(主に申込研修)を実施していることに留意すること（例：プレゼン・インストラクションスキル研修)

※各能力の育成方法として、研修以外の手法もあることに留意すること

△：基礎的な知識・スキルが望ましい(要指導レベル)

○：基礎的な知識・スキルが必須(自立レベル)

◎：高度な知識・スキルが望ましい(準指導者レベル)

★：高度な知識・スキルが必須(指導者レベル)